

諏訪区地域協議会だより

■ 「諏訪区地域協議会」アンケート結果（抜粋）をお知らせします

「二貫寺の森」と「地域活性化の方向性」について、5月から6月に実施した「諏訪区地域協議会アンケート」に、76人の方からご協力いただきました。ありがとうございました。アンケートの結果と、ご意見の反映状況をお知らせします。

今号では、「地域活性化の方向性」について、アンケートの集計結果とご意見の反映状況を抜粋してお知らせします。

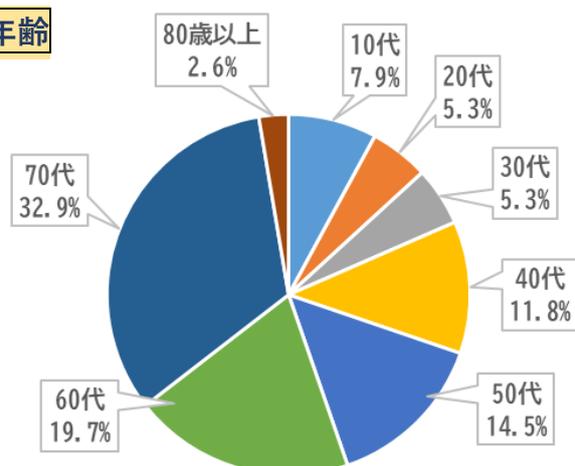
全ての結果は、市ホームページや諏訪地区公民館に「諏訪区地域協議会アンケート結果」及び「アンケート結果を踏まえた『地域活性化の方向性』の作成について」がありますので、ご覧ください。



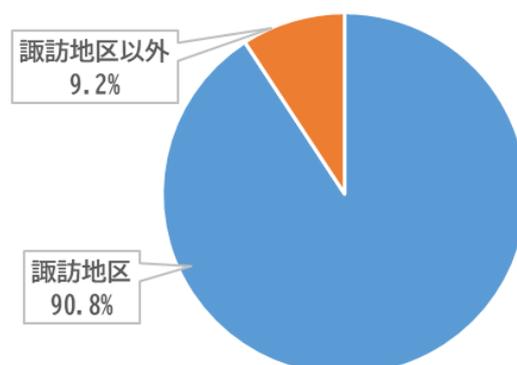
1 調査目的	これまで地域協議会で審議した「二貫寺の森の活用」と「地域活性化の方向性」について、住民の意向との整合を検証する。
2 調査期間	R5.5.25～6.11
3 調査対象	諏訪地区在住、勤務または活動している方で、小学校5年生以上の方
4 調査方式	・無記名の標本調査、複数項目からの選択及び記述 ・地域協議会だより全戸配布（240枚）のほか、地区内の各種団体へ調査票を配布（106枚）
5 回答者数	76人（Web回答32人、紙回答44人 …Web回答率42.1%）

□ 回答者について

年齢



居住地



□ 地域活性化の方向性について

「分野別の取組」を具体的に進めるために、優先的に実施すべき活動だと思えるものを選んでください（回答はそれぞれ2つまで）。

自然環境の保全

(人)

二貫寺の森の保全活動	32	
二貫寺の森の PR 活動（魅力の発信）	28	
子どもの自然教育	22	
余暇活動（星を見る会、バーベキューなど）	20	
今のままでよい	7	
その他	7	
計	116	



「その他」の意見

- ・道路など整備
- ・自然にしておくため何もしないで藪にしておくのは論外
- ・ミニ少年の家的にした各分野の専門的組織を諏訪小（数年後に廃校）内に設置して公民館と連携して活用する。公民館の活用の活発化。
- ・保全等々をあまり考えすぎると新しい活動等は見えてこない。思い切った行動を起こす。
- ・早急な施設整備
- ・放置状態であり近付くのも怖い現状。子供達を遊ばせたいと思う公園+自然公園に。

[アンケート実施前]

市民の森「二貫寺の森」をいかした環境教育と余暇活動の促進

- アンケートの結果分析
 - ・「保全活動」の割合が一番高い
 - ・掲げている文言は「環境教育と余暇活動の促進」であるが、3位、4位に位置している。
- 「地域活性化の方向性」との整合に係る主な協議内容
 - ・「環境教育と余暇活動の促進」は「保全」の次の段階。余暇活動まで行く前に、保全活動として何かやることがあるのではないか。
 - ・アンケート結果を踏まえると「保全活動の促進」の方が近いと思われる。
 - ・地域住民が行きやすい、雰囲気の良い森を目指す意味の、環境整備を必要とした言葉を取り入れたい。

[アンケート結果反映後]

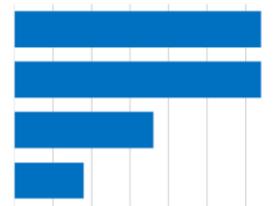
市民の森「二貫寺の森」を育み、「二貫寺の森」から学ぶ活動の促進

保全・再生→利便性の向上まで、森を改めて「成長させる」意味で「育む」と表現しました。また、人が森を育むこととし、人が自然環境について学ぶことに対して、「『二貫寺の森』を育み、『二貫寺の森』から学ぶ」としました。

福祉の充実

(人)

高齢者福祉施設とのつながりの強化	32
車を運転しない高齢者の買い物ツアー等の充実	32
今のままでよい	18
その他	9
計	91



「その他」の意見

- ・ 地区内に店舗を誘致
- ・ 公共交通（バス）が充実していない。病院等に利用出来ない。
- ・ 高齢者しかいない家への声かけや見回りなど
- ・ 高齢者世帯の見守り、除雪の助け合い
- ・ コロナも第五類に移行し、人同士の繋がりが大丈夫になったので、高齢者施設の見学など実施し、もっと広く施設と繋がってほしいと思う。
- ・ 地区運動会の復活



[アンケート実施前]

子どもから高齢者まで安心して暮らせる支え合いの機運の醸成

○アンケートの結果分析

- ・ 取組についてはどの項目も同程度の割合となった
- ・ 「今のままでよい」の割合が、他の設問と比較して高い（他の設問は17%程度に対し、23.7%）

○「地域活性化の方向性」との整合に係る主な協議内容

- ・ 「機運の醸成」という言葉が難しい。
- ・ 「安心して暮らせる支え合いの強化」というニュアンスの言葉に変えてはどうか。

[アンケート結果反映後]

子どもから高齢者まで安心して暮らせる「支え合う」風土の継承

アンケートの選択肢にある「高齢者福祉施設とのつながり」や「高齢者の買い物ツアー」は現在も諏訪地区で実施している事業です。

また、普段から近隣の一人暮らし高齢者に声を掛けるなど、助け合いの心がある地域ですので、新たに作り出すものでなく、地域の良き風土を次の世代に継承していくことが重要と考えます。



アンケートにご協力いただき、感謝申し上げます。
このように、地域協議会では、みなさんからのご意見を参考に一言一句に“諏訪らしさ”を込めて「地域活性化の方向性」を作成しました。

作成した「地域活性化の方向性」は次ページ➡

■ 諏訪区の「地域活性化の方向性」を作成しました

地域協議会では、地域の活力向上に向けた議論を進めるうえでの委員間の認識の共有などを目的に、次のとおり「地域活性化の方向性」を作成しました。作成にあたり、「諏訪区地域協議会アンケート」の結果から、地域の皆さんの声を反映しています。

「二貫寺の森」や、田園地帯ならではの景観と風土に根ざした、
人々が住みたい・住み続けたいと思える
美しい「諏訪の里」を育てていきます。



～「地域活性化の方向性」の「構成要素」～

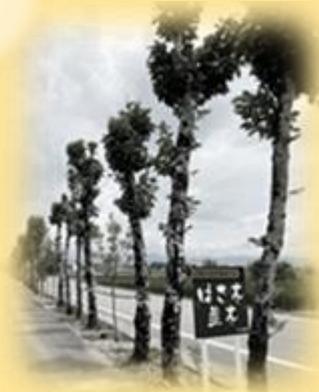
市民の森「二貫寺の森」を育み、
「二貫寺の森」から学ぶ活動の促進



みんなで取り組む、住みたい・住み続けたい
すこやかな諏訪の里づくり

安心して暮らすための
地域防災力の向上

子どもから高齢者まで
安心して暮らせる
「支え合う」風土の継承



ヒマワリ、白鳥、はさ木…農村地域の
景観と調和した美しい諏訪の里づくり



地域の伝統や先人
「芳澤謙吉翁」の
顕彰と継承



次号では、「二貫寺の森について」のアンケート結果や協議の内容を掲載する予定です。

アンケート結果を地域の皆さんと共有し、みんなで「諏訪の里」を育てていきましょう。

お問い合わせ先

(地域協議会事務局) 上越市総合政策部地域政策課 中部まちづくりセンター

上越市木田1-1-3 (上越市役所第一庁舎3階)

電話：526-1690 / F A X：526-8363 / E-mail：chubu-machi@city.joetsu.lg.jp